

平成29年度第9回天童市教育委員会について（報告）

日 時	平成30年2月22日（木） 午前10時
場 所	教育委員会 第一会議室
出席委員	相澤一彦教育長、井上正信委員、大貫紀代子委員、 本田孝之委員、村山晴香委員
欠席委員	なし
出席者	佐藤雅教育次長兼教育総務課長、江川久美子学校教育課長、 武田文敏生涯学習課長、萩生田伸悟学校給食センター所長 事務局（教育総務課職員）
議 事	議第22号 平成29年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒の 褒賞について 議第23号 平成29年度教育委員会所管3月補正予算(第8号) について 議第24号 平成30年度教育委員会所管予算について

<教育長あいさつ>

はじめに、今、冬季オリンピック競技が盛んに行われています。私は試合を最後まで見て燃え上がることはそう多くはないのですが、一流選手の言葉は常に気に留めています。スピードスケートの小平奈緒さんが「私は求道者です。」
「金を取ることが目的ではない、究極の滑りをするのが目的です。」「私はオランダに滑りを磨くために行ったのではない。私がするスケートの文化を学びに行ったのです。」と聞き、すごいなと思ったところです。

このことにより、市内教職員方々に伝えたいことが「点数を上げることが目的ではない。究極の学びをつくると、点数は上がってくるものであること。」です。究極の学びを歩いていく、本当の学びとは何なのかを歩いていく、そのことによって必ずや結果として現れてくるものと考えます。

「多様性」を認め、「共生」の大切さの視点から3つお話しします。

一つ目には、先日「男女共同参画を進める市民のつどい」があり、その講演で鶴岡市にあるキャド・キャム株式会社の齋藤士郎社長のすばらしいお話がありました。東京スカイツリーや高層ビルの床の設計をしている会社ですが、社員に女性が多く女性管理職もいます。その中で、子育て中の方には自宅で仕事ができる時間があったり、子どもを会社に連れてきても良かったり、女性の視点に立った考え方が浸透しているようでした。基本的に男性の目線でできているものが多い社会で、女性の目線をしっかりと捉えることが大切であると感じました。

二つ目には、「ワールドカフェ」（国際交流協会）に参加して、ある中国出身の女性から「日本に来てよかった。一人っ子政策で、その子が大病を患ったが、日本に来て二人目の子供ができた。」との話があった。ただし、悩みがあり、子

供も大人になって親元を離れ、気付いてみれば一人になった。中国人同士の繋がりもあまりないとのこと。そういう思いの人がこの天童市にも数百人いるという視点を持つことも必要なことだと思いました。

三つ目は、いじめについてです。脳科学者である中野信子さんの著書に『ひとは「いじめ」をやめられない』があり紹介します。ひとはものすごく弱い（脆弱である）からこそ集団をつくろうとする。集団では仲間に合わせられない人が出るのが怖くなるため、協力行動を促進しようとする。協力できない行動に対して制裁しようとするホルモンが分泌され、それによりまとまって行動しようとするものである。日本人はその傾向が強いと言われている。多様性をいかに認めていくかが大事になってくるのだと考えさせられました。

さて、新年度に皆さんに御協力いただきたいことがあります。一つ目は、モンテディオ山形の市民応援デーです。5月13日にあり1万人の集客を目指しています。10月14日には4千人以上が将棋を指す必要がある「二千局盤来」を企画し世界一に挑戦します。4月21日と22日は天童桜まつり、11月5日にはラ・フランスマラソン大会を予定しているところですので参加も御検討ください。

むすびに、あと1月で新年度となります。安定した状況の中で、学力向上に向けた準備が整っていることに感謝いたします。

< 議 事 >

議第22号 平成28年度教育委員会小中学校優秀児童・生徒の褒賞について
<可決する>

審議経過

本田委員： 例年に比べて褒賞対象者は多いですか。

事務局： 昨年は全校児童が活動し褒賞対象となった小学校がありましたが、それを除いた場合、今年度は団体での褒賞も多く、それに伴い人数も少し多くなっています。同時にメダル購入数も多くなります。

井上委員： 中学生の18番目の方、全国中学生人権作文コンテスト山形県大会最優秀賞と表記されていますが、全国大会でも賞を受けたと記憶していますがどうですか。

事務局： 確かに全国審査に進んでおりますが、特別賞受賞とはならず、奨励賞の受賞とのことでしたので、県大会最優秀賞を表記いたしました。

< 議 事 >

議第23号 平成28年度教育委員会所管3月補正予算（第8号）について
<可決する>

審議経過

井上委員： 学校の空調設備改修では、冷暖房機としてエアコンが使われるが、これまでの灯油等の燃料代から電気代の支払いとなる。ランニングコストとしてどちらが有利になるのかわかりますか。

教育次長： これまで導入校の比較で見ますと、3校の分で百数十万円の増額となっているようです。これはこれまでにない夏場の冷房使用による電気代の増額と考えられます。

教育長： 灯油代の方が安い状況のようではありますが、現在の空調機器の性能が良くなっており、冬のコストはほぼ同じ額のようにですが、夏場に使用する分が増えていると報告を受けております。

< 議 事 >

議第24号 平成30年度教育委員会所管予算について

< 可決する >

審議経過

井上委員： 教育総務課の小学校電子黒板整備事業では、具体的にどのように設置なるのですか。

教育次長： 電子黒板は全てリースで導入します。基本的にフロアに1台設置とし、平成32年度までには市内全学校に整備したい考えです。来年度に予定している大規模校については各校5台導入の予定です。

本田委員： 中学校の部活動指導員の配置について、部活動担当の先生を指導するのか、生徒を指導するのか。関わり方の概要を教えてください。

学校教育課長： 1日4～5時間の勤務を考えています。中学校の教員にとって部活動に関わる時間のボリュームが多い中、始まりの準備段階や、終了時の片付けから下校の時間までの見守りを担当教員に代わってお願いしたいと考えています。また、部活動に関わる各種申請書類やスケジュール作成等の事務処理も担ってほしいと考えています。土曜日の大会や練習試合への引率も可能となるような要項を作成しています。

本田委員： 英語検定受験の推進について、受験率はどれくらいになっているか。

また、受験は強制ではないとしているが、先生から受験を促しているのか。

学校教育課長： 対象学年は中2と中3で、受験率は50%ほどです。4級を受けてから3級を受けようとしたことから、級による受験料の差異が生じ予算残余の要因となっています。

教員から英語検定受験を推進していただいています。今後の課題として、授業との連携や子供への動機づけの周知が必要と考えています。

教育長： 学校にとってこれまで関わっていない外部検定であり、戸惑っている面はあります。反対の声もなく、やってみて良かったとの意見が多くあります。続けていくことで定着するものですので継続していきたい考えです。

大貫委員： 公民館管理運営事業の説明に、AED を建物の外側に設置する予定とありましたが、AED 使用のための講習会などは実施していますか。また、今年度に使用した事案はありましたか。

教育長： 学校の職員は講習受講率が100%となっていますが公民館関係者はどうですか。

生涯学習課長： 田麦野公民館と新しい市立公民館には既に外部利用者が可能な場所に設置済みで、残り10館について、電気配線工事をしたうえで温度調整機能付きのAED 設置を予定しています。

講習会については消防本部が定期的に行っているため、公民館職員は市職員として受講済みです。公民館が閉じている時も利用できるように、市民にも講習会への参加を呼び掛けていきたい考えです。

村山委員： 私は放課後子ども教室に関わっていますが、良い企画があれば教えていただきたい。

生涯学習課長： 放課後子ども教室は子ども会育成会や実行委員会組織などに運営していただいています。お菓子作りなど食べ物関係が人気ですが人数に限りがあるのが課題のようです。

本田委員： 学校教育課の中学生貧血検査とピロリ抗体検査ですが、無料で受けられるものなのか。どのくらいの割合で保菌者がいるのかわからないと受けようとする意識も違ってくると思われる。保菌者であることがからかわれる要因となるのが心配されるが、現状や対応策などがあれば教えてほしい。

学校教育課長： ピロリ菌の陽性者とわかることでからかわれる種になると思われることから、ピロリ菌抗体検査をピロリ抗体検査に変更しました。また、結果を周りの人にわからないように結果通知します。

検査料金については市で予算化します。保菌率については正確な数字を持ち合わせておりませんが1ケタで数%と記憶しています。治療が必要な場合は健康課と協力しながら、中学生まで医療費無料を活用して受診していただく考えであります。

教育長： 胃癌患者の95%にピロリ菌の陽性反応があると言われており関連が強いので、出来るだけ死亡率を減らすためにも受検が必要と考えています。

教育長：議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。無いようですので議事を終了します。

教育長：他には無いようですので、第9回教育委員会会議を終了します。